

令和6年度 山形県立長井高等学校 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

スクール ミッション	創立以来受け継がれてきた「万物我に備はる」の校訓のもと、地域のリーダーを輩出してきた歴史と伝統ある普通科高等学校として、挑戦し続ける高い志と探究心を持ち、高い知性と豊かな情操、健全な心身を兼ね備えた、地域と地球に貢献する有為な人材を育成します。		教育 目標	(1)健全な心身と挑戦し続ける高い志の育成。 (2)高い知性と豊かな情操の育成。 (3)社会の有為な形成者となるための諸能力の育成。			教育 方針	(1)生徒の初志を大切にし、その目標達成を目指す。 (2)自律的・積極的な生活態度の育成と個性の伸長をはかる。 (3)生徒各自の意思を尊重し、きめ細やかな指導を旨とする。 (4)時代に即した教育活動を実践する。	
	自己評価			左から 教員・生徒・保護者・総合の評価 □文字：昨年度評価より向上 網掛け文字：昨年度より評価低下		学校関係者評価 実施日：令和7年2月17日			
年度目標		年度評価(令和7年2月3日現在)			昨年度		自己評価に対する評価		
重点目標	具体的方策	評価項目	達成度				課題		
			教	生	保	総			年
1. 自他の存在や生き方を尊重し、自立的・積極的に行動する態度の育成	①様々な教育活動を通し、豊かなことと望ましい人間関係を構築する。 ②自ら考え、判断し、変化や困難にも柔軟かつ的確に対応できる力を育成する。 ③部活動や生徒会活動などの主体的な活動を促進する。 ④家庭や地域と連携し、共通理解を図り、生活習慣や規範意識を確立する。	人間関係形成能力の育成(1) 主体的な判断力・適応力の育成(2) 主体性を育む部活動・生徒会活動の充実(3) 基本的生活習慣と規範意識の確立(4) 組織的な指導(5)	A	A	A	A	A	・生徒自身が時代の変化に対応できる 心身の健康を維持 して人間力を向上させるための指導。 ・ 生徒の主体性を育む諸活動の推進とリーダーの育成する環境づくり 。 ・生徒会執行部を中心とした生徒による自治活動の更なる推進。 ・生徒の生活実態の掌握と効果的な生徒面談や教育相談の実施。	・人間関係形成や部活動・生徒会活動の観点から、生徒たちが達成感や満足感を得ていることが窺えます。基本的な生活習慣が何をもって表しているかもあるが、生活習慣と規範意識の確立が、他の評価に対して教員が低いのはなぜか気になります。 ・生徒や保護者の評価も高く良い。授業参観等で工夫していただき、探究の発表などを聞かせてもらおうと更に学校の雰囲気が変わると思います。 ・英検での英語教育は素晴らしいが、TOEICの利用で社会人でも継続できる取り組みをしてほしい。また、ディベートを用いた教育活動を積極的に行ってほしい。 ・全体的に高評価の印象。様々な課題があるが、早期解決が可能な課題が多く、対応を期待したい。教員の評価が生徒・保護者と比較し厳しくなっているが、生徒の指導・教育に真摯に取り組んでいただいたものと感じる。一方で教員の不適切な表現やコミュニケーション不足など、信頼関係構築に尽力いただきたい。 ・生徒の「時間を守るように努力している」の評価が年々低下し、規律の低下が心配。 ・家庭と学校の連携について、いつも保護者の評価が低い。学校活動、先生と生徒のコミュニケーションの評価は今回10ポイント以上向上した。
2. 「習得」「活用」「探究」による「確かな学力」の育成	①授業力向上に努め、「わかる授業」の徹底と、意欲・関心の喚起に努める。 ②基礎学力の向上と応用力の伸長とともに、それらを活用する力を育成する。 ③探究型学習を推進し、自ら学び主体的に課題を解決していく力を育成する。 ④図書館を有効利用し、読書や幅広い学習活動の促進に努める。	授業改善(1) 教科と年次等分掌間の連携(2) 基礎学力の定着(3) 個に応じた指導と家庭学習の充実(4) 主体的な学び(5) 図書館の活用と読育(6)	B	B	B	B	A	・自律した学習者の育成。 ・ 生徒の思考力・判断力を高め適切な授業と評価の一体化 を目指す。 ・ICTを利用し生徒の1人1台端末を利用した授業の研究。 ・探究活動での外部人材の活用。 ・ 読書の推進と、活用される図書館としての機能の充実 。	・重点目標2の評価がBであり、他の重点目標より低くなっているところが気になる。家庭学習との関連もあると思う。授業の学びの実感から家庭学習の推進、そして次の授業への循環、さらには重点目標3のキャリア形成と関連させてほしい。 ・授業における「わかる実感」と「興味・関心」をいかに高めるかだと思います。 ・先生の教え方のバラツキに厳しい意見が多い。毎年教え方を向上できるような仕組み(研修会)があるのでしょうか。校内だけで探究力を養うことは難しいと思うので、企業、大学をもっと活用すべきである。読書は増やして頂ききたいが、情報の入手方法が多様なので、評価項目の「図書館の活用」は見直してもよいと思います。 ・学力育成に向けた現状は、各々の立場で十分把握できていると思う。読書時間確保や学力向上に公共施設との連携や公共交通機関の利用推進など、工夫が必要。 ・応用力の伸び悩みについて、対策が必要ではないか。この項目の先生方の評価が年々低くなっており、指導の工夫が必要ではないか。「本」の良さを見直してほしい。
3. 広い視野と高い志を持ち、自己実現を図る態度の育成	①3年間を見通し、計画的・系統的なキャリア教育を推進する。 ②一人ひとりを大切に、個に応じたきめ細やかな指導に努める。 ③新しい大学入試制度を踏まえた教科指導、進路指導の研究を深める。 ④生徒の果敢に挑戦する意欲と学び続ける態度の育成に努める。	キャリア教育の推進と分掌間の連携強化(1) 個に応じた進路指導体制の確立(2) 積極的な進路情報の提供(3) 自己実現のための環境作り(4)	B	B	B	B	A	・各コースの特性を活かした進路指導(社会人時のキャリア形成)。 ・計画的な個別面談の充実と家庭への進路情報の提供。 ・ 総合型・学校推薦型の定員増加に対応した進路指導の実践 。 ・大学見学会や外部講師による進路講演会の効果的な活用。	・先生方の一人一人への丁寧な関わりと、キャリア形成に向けた体験的な活動による内発的動機付けの機会がしっかりと与えられていると思います。 ・大学入試は重要ですが、その次(将来)があることを伝えていただきたい。学生、社会人の話を聞いてもらってよいかと思います。 ・将来の夢や進路といった重要なテーマであり各々が一生懸命取り組んでいると感じる。一方で評価があがらないのは、生徒・保護者・教員3者の連携であり情報共有が不足しているのではと思う。面談の充実などペーパー配付だけで終わらないよう情報提供に努めていただきたい。 ・保護者は「進路情報が学校から十分に届いていない」と感じている。 ・キャリア教育の取り組みが少し低調に感じる。
4. 開かれた学校づくりと地域社会とつながる態度の育成	①ボランティア活動など、地域社会に積極的に参画する活動を促進する。 ②地域の伝統・文化や課題などについて考え、理解を深める学習の充実を努める。 ③ホームページを活用し、本校の取組や教育活動を積極的に発信する。 ④地域の期待や学校評価をもとに、教育活動の継続的な改善を図る。	ボランティア・社会参加活動の推進(1) 地域学習と地域貢献の推進(2) 通信や会報の活用(3) 学校評価のフィードバック(4)	C	B	B	C	C	・積極的なボランティア活動、地域貢献活動の推進。 ・ ホームページ、学校連絡メールの活用方法の研究とSNSを活用した本校諸活動の積極的な広報 。 ・探究活動等における地域の組織・人材の活用。	・ボランティアや地域社会の参加は恒常的には難しいので、長高祭で地域のお年寄りや子供たちがもっと参加できる仕組みがあれば良いかと思いました。 ・生徒や保護者からはボランティア活動や地域活動に参加したい意向が感じられるが、学校がそれに応えられたかは疑問に思える。十分な情報提供と活動しやすい環境づくりを求めたい。生徒に寄り添った教育活動をしていただいており、進路結果も十分反映しているが、長井工業高校と比較すると地域との連携、貢献が少ないという声もある。改善を期待したい。 ・生徒の地域行事の参加率や地域への貢献度が年々上がってきているのは大変喜ばしいことです。スクールコミュニティの観点から地域を意識して更にご指導を願う。 ・参考として今年度の中央コミュセン事業にボランティアスタッフとして参加した中高生の延べ人数は()のとおり。(長井高12/長工高3/長井南中9/長井北5) ・ボランティア活動全般の参加は低調のままである。もっと重要視してはいかか。
達成度	A(達成): アンケート結果の1+2評価が90%以上		B(概ね達成): アンケート結果の1+2評価が70~89%			C(やや不十分): アンケート結果の1+2評価が50~69%		D(不十分): アンケート結果の1+2評価が50%未満	

※自己評価は、今年度の重点目標の具体的方策についての達成度について、教員・生徒・保護者のアンケート調査を実施し、「1:十分である、2:まあまあ、3:やや足りない、4:足りない」の4段階で評価した結果です。